



## 議会報告会反省について

会派 緑風会

- 参加者が多く資料不足となり、対応に15分かかった。また、報告会が始まっていたので、事務局対応になってしまったが、担当が対応すべきではなかったのでは。
- 予算審査概要報告及び各常任委員会報告は、一部の方からは内容が理解できなく意味がわからなかった。この報告会は、事前に予習して知識のある人を対象としたもので、一般市民を対象としていないと感じたので、次回は参加したくないとの感想もあったようですので、初めて聞く人にもわかりやすい説明内容にする必要があると思います。
- 意見交換会では、テーマを絞り込んで進めたらと感じました。
- 限りある時間なので進行が大切だとも感じました。
- 1グループの人数が多く発言できない方がいた。
- 1グループ10人ぐらいが望ましいのではないかと。
- 全般的に良かったとは思いますが、今後も反省点を踏まえて、この形で議会報告会を続けていければと思います。

### 次回の議会報告会の提案

校長先生の意見・発言が多く、他の方が発言できなかった。また、今年度からコミュニティースクールが全校で始まったと言うことで、参加者の方々がコミュニティースクールに対して理解してないようであった。今回の意見交換会は、目的達成できなかったように思っていますので、次回もコミュニティースクールをテーマに開催し、出席者は保護者・地域(自治会など)の方々に出席していただき、コミュニティースクールに対しての意見交換会を改めて開催することを提案します。

=====  
標 題：議会報告会の反省・意見 【公明党】  
=====

議会報告会の反省・意見について

【反省点】 【意見】

1. 議会報告会の要領は、開催前に既に各会派に配布されている。役割分担に記載されている担当議員は誠実に対応することが求められる。
2. 想定以上の市民の方が、参加くださったため、一人に割く時間が相対的に足りなかった。

3ないし4グループに柔軟に設定出来れば、議論が深まったと思う。

1. 議会報告会と意見交換会の二部構成の進行は、工夫されていて上手な方法との意見があった。
2. 今回の議会報告会は概ね評価できる。今後も継続していくべきと思う。

公明党



## 議会報告会の反省

新しい風

### 良かった点

- ・前半の説明時間がコンパクトになり、後半の意見交換に時間を多く配分できた。
- ・コミュニティ・スクールが実際にどのようなことを実施しているのか分かった。
- ・各校ごとの地域性や特色の違いが分かった。
- ・各校共通の課題がグループ内で共有できた。

### 反省点

- ・配布資料が不足し、しばらくの間参加者の一部に資料が渡っていなかった。
- ・以前は議員にも配布資料を配っていたが、今回からなくなった。説明資料だけでも配布したほうがよいのではないか。
- ・参加者が多い場合、今後はグループの細分化を行ったほうがよいと思った。

(1) 開催時期に関して

新学期がスタートしたばかりで参加人数が心配されましたが、予想以上の参加がありよかったと思いますが、配布資料の不足が生じたことについては今後の課題だと思います。

(2) 次第における所要時間等に関して

① 参加人数との関係もありますが交換会において発言時間に制約が必要になるケースもありました。今後の課題として、意見交換会の時間を延長することや人数やグループ分けについても臨機応変に対応することも必要ではないかと思っています。

② テーマに関しては、担当所管課から説明を受けることや議員の事前学習も必要ではないかと思っています。

③ 各委員長報告に対しては、今回は質疑時間を設けませんでした。設けることによって議会と市民の双方向の報告会にできるのではないかと感じました。

(3) 役割と分担に関して

全員協議会室の前方にある白板に「議会報告会」とした文字を手書きしていますが、事前に印刷した用紙を白板に添付するようにしたら良いと思います。

(4) 意見交換会の対応に関して

意見交換会のグループ分けにおける司会者と開催要領におけるグループのファシリティを努めることに関しては、齟齬がありましたので、今後の対応について検討を要するものと考えます。



## 日本維新の会 議会報告会 所感

・関係者の方に多くご参加いただき、貴重な生の声を聞かせていただけただけは良かった。

・2グループに分かれた為、1グループ辺りの人数が多くなりすぎて時間が少々足りないと感じた。

・今回は内容がコミュニティスクールだったので、質疑応答の時間を設けたのは良かったが、時間の都合上あまり質問が出来なかった。

・上記二点を踏まえ、報告会の時間を延ばすことも検討が必要だと感じる

・予算決算の報告だけでなく、テーマを決めて意見交換を行うように変更してから、回を重ねるごとに参加者が増え有意義な議論も出来ていると感じるので、この方向で今後も進めていくのが望ましいと考える。

平成30年 4月27日

和光市議会議長 様

和光市議会議員 菅 原 満  
(会派名 希 望)

平成30年4月26日開催 議会報告会(意見交換会)の反省等

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p>◎意見交換会について<br/>【所感】</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・平日の昼間であったが、大勢の方に参加していただいた。</li><li>・白子小学校の学校運営協議会を経験している方により、具体的な状況に関して説明を直接受けることができ、参考になった。</li><li>・学校長の参加により、学校現場での取組みや課題について直接知ることができた。</li><li>・また、学校、地域、保護者や各団体の連携について、指摘や意見を聞くことができ、参考になった。</li><li>・コミュニティスクールの制度は、今年度から全校での取組みとなったことから、今後の活動に状況も十分把握していく必要があるのではないかと感じた。</li></ul>  |
| <p>◎検討課題について</p>           | <ul style="list-style-type: none"><li>・準備への議員の関わり(原稿作成、印刷、製本など)。事務局の係わりについて改めて確認しておくことが必要ではないか。</li><li>・意見交換での進行方法について調整、事前の検討や準備のあり方の検討。(各グループの進行者)</li><li>・議会運営委員長は、全体の司会進行であることから、「各委員長がファシリテーターを務める」と要領にあるように行う。(例えば、総務環境委員長が第一グループ、文教厚生委員長が第二グループというようにする。)</li><li>・(議員)テーマに沿った発言、質問を行うようにテーマや発言について把握しておくことが必要ではないか。</li><li>・参加者が極力多く発言(回数)できるように、進行面の検討が必要ではないか。</li><li>・次回の議会報告会(意見交換会)についても、今回と同様な方式、テーマを決めて、平日の午後と考える。</li><li>・机の配置換えに時間を削減するため、委員長報告までを議場で開催することの検討。</li></ul> |

議会報告会 反省・意見

2018. 5. 8  
和光・まちづくり市民の会  
赤松 祐造

(良かった点)

一応の参加者が来られたこと

(意見)

グループ分けて、第2グループの人数が多く、意見交換の時間が不足気味  
次回はグループ分けの方法を考える必要があると思います。

意見交換時間をもう少し長くし、余裕を持たした方が良い。

テーマのコミュニティスクールについての認知度が低いので資料を市議会ホームページに事前掲載して置けば、それを見て参加する人もいないか。

今後、議会報告会テーマについて、概要、課題を報告会開催前にホームページ  
に  
掲載することを提言。

以上

## 議会報告会反省

### 歩みの会

- 多くの方に参加いただけてよかった。  
意見交換会のテーマが時期的にもタイミングが合い、多数の参加につながったのではないかと。
- 資料が足りなくなり、開会までに間に合わなかった。  
スライドなどの資料映像もないので、わかりにくかったと思います。  
あまり多く用意をすると無駄になってしまうので、議員分の資料を最初から用意をしておき、足りない時には議員分をわたせるようにして、すぐに対応できるようにしたい。
- 意見交換会は人数が多く、発言ができない方がいました。  
別れた会場の人数に大きく差があったので、意見交換会が始まる前に人数調整ができるように準備が必要だった。